



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月27日

上場会社名 日本ガス株式会社(登記上の商号 日本瓦斯株式会社)

上場取引所 東

コード番号 8174 URL <http://www.nichigas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 眞治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経財部長 (氏名) 宮本 英一

TEL 03-5308-2111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年11月18日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	48,865	△5.2	4,753	28.8	4,626	34.0	3,110	49.6
28年3月期第2四半期	51,545	△7.2	3,690	91.8	3,451	115.8	2,079	184.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 3,245百万円 (58.3%) 28年3月期第2四半期 2,050百万円 (53.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	72.86	—
28年3月期第2四半期	59.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	130,887		62,874			48.0
28年3月期	139,097		60,316			43.4

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 62,869百万円 28年3月期 60,310百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
29年3月期	—	17.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,500	0.7	12,200	3.3	12,100	6.8	7,600	7.2	178.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	48,561,525 株	28年3月期	48,561,525 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	5,866,351 株	28年3月期	5,877,635 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	42,690,340 株	28年3月期2Q	34,733,076 株

(注) 自己株式数については、役員報酬BIP信託が所有する当社株式(29年3月期2Q:279,796株、28年3月期:291,300株)を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10
(2) 需要家戸数等の推移	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

国内のエネルギー業界におきましては、2016年4月に電力小売りが全面自由化され、ガス事業者等が電力小売市場に参入し、セット割料金メニュー等による顧客獲得競争が展開されております。2017年4月には都市ガス小売りの全面自由化が予定され、既に複数の電力事業者等が都市ガス小売市場への参入を表明しており、顧客獲得競争が一層激化するものと思われま

す。このような状況を踏まえ、当社グループは、安全と安定供給を担保しつつ、お客様にエネルギーサービスの新たな利便性を提供することが極めて重要と考え、東京電力エナジーパートナー株式会社と2015年10月に業務提携契約を締結し、電力・ガスのセット販売を開始いたしました。また、同社と当社及びグループ子会社3社は、2017年4月以降に販売する都市ガスの全量(LNG換算約24万トン/年)を、同社から卸供給を受ける基本契約を2016年5月に締結いたしました。

今後は、都市ガス小売り全面自由化後の顧客獲得競争を見据え、両社の電力・ガス販売ノウハウを融合させた新たなセットメニューや付加価値サービスの共同開発に取り組み、お客様に選ばれる総合エネルギー企業への成長を目指して参ります。

当社は、お客様に安全でより安価なガスをご利用頂くため、ICTを活用したクラウドとモバイルデバイスの連携システム「雲の宇宙船」を自社開発し、検針・配送・保安等のオペレーションコストの削減と保安の高質化に成功しております。当社のこうした企業価値向上のための戦略的なICT活用とその成果が評価され、2016年6月に経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「攻めのIT経営銘柄2016」26社の1社に選ばれております。

今般、当社は、お客様の利便性と業務効率向上を図るため、ICTとAI技術を活用した先進的・画期的なお客様向け総合エネルギープラットフォームの構築を目指して、2016年9月に株式会社メタップスと資本業務提携を行いました。同社との共同開発の第1弾として、スマホのコミュニケーションツールである「LINE」とAIを組み合わせたLINE BOT(LINEを用いた自動応答の技術)によるガス器具の販売システムや公益事業トランザクションのバーチャル化によって、契約、申し込み、情報確認、決済がLINE上で行えるシステムを開発し、近々に同システムの運用を開始いたします。この結果、ペーパーレスオペレーションによって、お客様のサービス受益ストレスを解消し、迅速で利便性の高いサービスの推進を加速して参ります。さらに10月より、エネルギー業界初のビットコインによるガス料金等の決済が可能となり、フィンテック、ブロックチェーンやIoTなどの活用で、事業構造改革によるサービスの高質化、差別化に、さらなるドライブをかけて参ります。

なお、当第2四半期末の当社グループのお客様数は、前年同期末に比べ43千戸増の1,175千戸と順調に増加しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、お客様数の順調な伸びに伴いガス販売量は前年同期に比べ増加いたしました。LPガス事業、都市ガス事業ともに原料価格が低く推移しガス販売単価が低下したこと等により488億6千5百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

利益面につきましては、新規のお客様獲得のための需要開発費用の増加等がありましたものの、原料価格が前年同期に比べ低く推移し売上原価が減少したこと等により、営業利益は47億5千3百万円(前年同期比28.8%増)、経常利益は46億2千6百万円(同34.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億1千万円(同49.6%増)と、いずれも増益となり、第2四半期連結累計期間としては過去最高益となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

#### [LPガス事業]

LPガス事業におきましては、家庭用ガス販売量のお客様数の順調な伸びに伴い増加いたしました。原料価格の値下がりによるガス販売単価の低下等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は291億2千万円と前年同期に比べ8億2千3百万円(前年同期比2.7%減)の減収となりました。

## [都市ガス事業]

都市ガス事業におきましては、ガス販売量は、工業用大口需要が堅調に推移し前年同期に比べ増加いたしました。天然ガスの販売単価が原料費調整制度により低く推移いたしましたため、当第2四半期連結累計期間の売上高は197億4千4百万円と前年同期に比べ18億5千7百万円（前年同期比8.6%減）の減収となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ82億9百万円（5.9%減）減少し、1,308億8千7百万円となりました。これは主に、季節的要因により受取手形及び売掛金が減少したことと、減価償却費の計上により有形固定資産が減少したこと等によるものです。

## ②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ107億6千7百万円（13.7%減）減少し、680億1千3百万円となりました。これは主に、返済が進んだことにより借入金が増加したことと、季節的要因により支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものです。

## ③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ25億5千7百万円（4.2%増）増加し、628億7千4百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払いによる利益剰余金の増減を反映したものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ4.6ポイント向上し、48.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年度については、原料価格の値下がりに伴うガス販売単価の低下が、LPガス、都市ガスともに見込まれますが、顧客基盤の拡充によるガス販売高の伸張とガス機器の普及・拡大により、連結売上高は平成27年度に対し0.7%増の1,155億円になる見通しです。

利益面については、顧客獲得費用の増加が見込まれますが、新物流・業務システムを更に進化させ、コスト全般の削減を進め、営業利益は3.3%増の122億円、経常利益は6.8%増の121億円、親会社株主に帰属する当期純利益は7.2%増の76億円になる見通しです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,246	29,109
受取手形及び売掛金	6,807	5,122
商品及び製品	4,347	3,404
仕掛品	76	23
原材料及び貯蔵品	75	92
繰延税金資産	604	456
その他	981	1,100
貸倒引当金	△120	△104
流動資産合計	47,020	39,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,802	9,522
機械装置及び運搬具（純額）	35,543	35,040
工具、器具及び備品（純額）	1,072	1,013
土地	23,487	23,532
リース資産（純額）	2,405	2,217
建設仮勘定	739	953
有形固定資産合計	73,051	72,279
無形固定資産		
のれん	4,458	4,033
その他	2,533	3,326
無形固定資産合計	6,991	7,360
投資その他の資産		
投資有価証券	4,083	4,608
その他	8,647	8,218
貸倒引当金	△701	△784
投資その他の資産合計	12,030	12,042
固定資産合計	92,073	91,682
繰延資産	3	-
資産合計	139,097	130,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,240	4,543
電子記録債務	4,110	2,985
短期借入金	18,133	15,664
未払法人税等	3,252	1,535
賞与引当金	448	481
その他	6,084	5,294
流動負債合計	39,268	30,506
固定負債		
長期借入金	33,051	31,532
株式報酬引当金	170	205
ガスホルダー修繕引当金	330	368
退職給付に係る負債	2,346	2,354
その他	3,613	3,046
固定負債合計	39,512	37,507
負債合計	78,781	68,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,070	7,070
資本剰余金	15,724	15,724
利益剰余金	45,447	47,827
自己株式	△8,896	△8,853
株主資本合計	59,345	61,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	782	783
為替換算調整勘定	208	338
退職給付に係る調整累計額	△25	△20
その他の包括利益累計額合計	965	1,100
非支配株主持分	5	4
純資産合計	60,316	62,874
負債純資産合計	139,097	130,887

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	51,545	48,865
売上原価	27,710	23,284
売上総利益	23,834	25,580
販売費及び一般管理費	20,144	20,826
営業利益	3,690	4,753
営業外収益		
受取利息	159	17
受取配当金	67	47
持分法による投資利益	-	61
不動産賃貸料	23	16
保険配当金	0	11
その他	100	164
営業外収益合計	350	318
営業外費用		
支払利息	260	198
持分法による投資損失	296	-
為替差損	19	131
その他	13	115
営業外費用合計	589	445
経常利益	3,451	4,626
特別利益		
固定資産売却益	2	4
その他	-	0
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	44	34
その他	7	0
特別損失合計	51	36
税金等調整前四半期純利益	3,401	4,594
法人税、住民税及び事業税	1,371	1,337
法人税等調整額	△49	146
法人税等合計	1,322	1,484
四半期純利益	2,079	3,110
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,079	3,110

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	2,079	3,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	0
退職給付に係る調整額	13	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	129
その他の包括利益合計	△28	135
四半期包括利益	2,050	3,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,050	3,245
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは販売を主として行っており、報告セグメントごとに生産規模及び受注実績を金額あるいは数量で示すことは行っておりません。当社グループの売上高及び利益面におきましては、性質上季節的変動が著しいガス事業の占めるウェイトが高いために、下期に偏る傾向にあります。

## 1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

## 報告セグメント別販売実績

報告セグメント	当第2四半期連結累計期間 (28.4.1～28.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (27.4.1～27.9.30)
LPガス事業(百万円)	29,120	29,943
都市ガス事業(百万円)	19,744	21,601
合計(百万円)	48,865	51,545

## 2) LPガス事業の販売実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (28.4.1～28.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (27.4.1～27.9.30)
ガス(百万円)	21,923	23,304
機器、受注工事他(百万円)	7,196	6,639
合計(百万円)	29,120	29,943

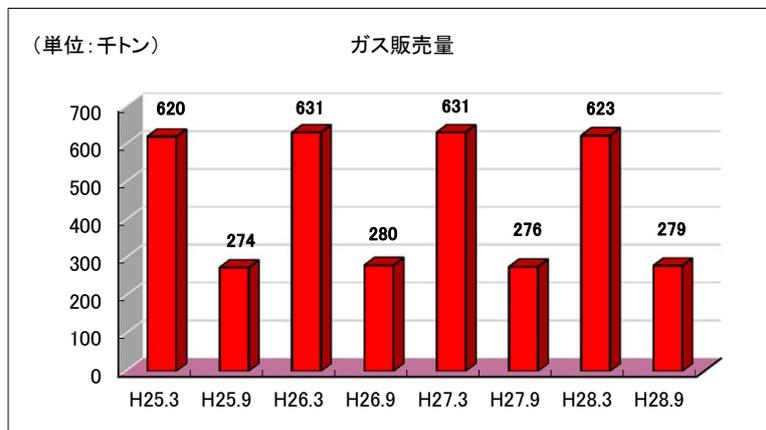
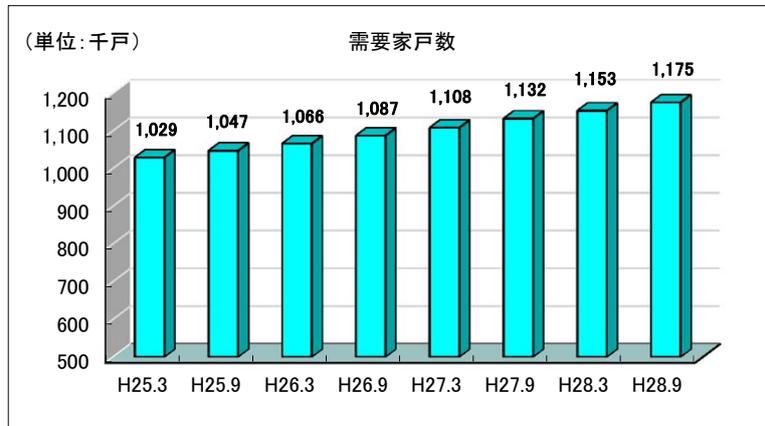
## 3) 都市ガス事業の販売実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (28.4.1～28.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (27.4.1～27.9.30)
ガス(百万円)	15,096	18,237
機器、受注工事他(百万円)	4,647	3,364
合計(百万円)	19,744	21,601

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引高は相殺消去しております。

( 2 ) 需要家戸数等の推移



(注) ガス販売量には、都市ガス事業における都市ガス (LNG) 販売量を LPG販売量 (千トン) にカロリー換算して含めております。